AMRESCO　Protein EZ-Vision, 4×　(N836-Kit)
取扱説明書

本製品はUV照射によって簡単にSDS-PAGEのバンド検出を可能にする、安全な蛍光色素です。
4×のローディングバッファーとしてサンプルと混合してお使いください。電気泳動中の移動度は Protein EZ-Visionとタンパク質-SDS複合体で同じです。
CBB染色のような、泳動後の染色、脱色といった作業が一切必要ありません。泳動が終われば、UV イルミネーターに載せるだけで簡単にバンドをチェックできます。
還元剤を使う系ではシグナルが弱くなるため、お勧めできません。

【内容量】
・2 tubes of 1mL Protein EZ-Vision™, 4X　（製品）

【保存温度】
0~ -20℃

【使用方法】
はじめにお読みください
Note: 電気泳動にプレキャストゲルをお使いの場合には、通常の泳動条件で15-20分プレランすることをおすすめします。
Note: 還元剤を添加すると、シグナルが弱くなります。

～サンプル調製～
1. 本製品を使用前に、10秒間ボルテックスにかけてください。
   Note: 沈殿ができている場合は、37℃で1-3分温めSDSを溶かしてください。
2. Protein EzVISION ：サンプル ＝1：3 となるようにProtein EzVisionを加え、混合してください。
3. 95℃、3－5分サンプルをボイルします。
4. 通常のやり方でサンプルをゲルにロードしてください。
   Note:ローディングダイフロント（ゲルの低分子量域）には蛍光が残りますので、この位置にあるバンドは検出しにくい可能性があります。

～バンド検出～
1. ゲルをゲルプレートから外して、UVトランスイルミネーターに載せてください。
   最適な検出波長：302nm（その他の波長につきましてはFAQをご覧ください）
   タンパク質のバンドはオレンジ色にご覧いただけます。
   検出フィルター：エチブロ用のものをお使いください。
   最適な露光時間：4-20秒
   Note: 蛍光シグナルは、UVの露光時間が長くなれば徐々に弱くなります。
2. 必要があれば、ゲルをCBBで後染めすることもできます。
   また、PVDFやニトロセルロースメンブレンに転写してウェスタンブロットにもお使いいただけます。

【FAQs】

検出フィルターはどのようなものを使えばよいでしょうか。	エチブロ用が最適です。	
最適な励起波長は？	最適な励起波長は 302nm です。ただし、254、312、365nm とレーザー励起の 488nm の波長でもご覧いただけます。	
電気泳動後のアプリケーションは何が適用できますか？	ウェスタンブロットに対応しています。	
Protein EzVISION の感度はどれくらいでしょうか？	Protein EzVISION は 100ng 以下を検出することができ、スタンダードな CBB 染色の感度と類似しています。	
バンドが見えません。	泳動条件が最適化されていません。	ローディングダイフロント（ゲルの低分子量域）には蛍光が残りますので、この位置にあるバンは検出しにくい可能性があります。アクリルアミド濃度を増やして、再度泳動してください。
	ローディングしているタンパク質量が少ない。	各バンド 100ng 以上のタンパク質を含むサンプルを泳動してください。

株式会社エムエステクノシステムズ

●大阪　電話 06-6396-6616

●東京　電話 03-3235-0673